

傾斜地の狭幅テラスにおける温州ミカンの樹形と中間台木等の比較

狭幅テラスにおける極早生, 早生および中生温州の新樹形と中間台挿入により早期成園化, 果実品質および作業性の向上をめざしています。なお, 本年度は展示圃場の造成工事 (2~4月) と成木移植 (5月13~28日) を行ったため, 着果量の軽減と葉面散布などにより樹体回復を図っています。

- ① 狭幅テラスの種類: 1.5m, 2.0m, 2.5mの3種類
- ② 展示品種: 成木; 興津早生, 幼木; 石地および広島柑橘7号
- ③ 樹形: 対照開心自然形, 双幹形, 主幹形
- ④ 中間台, 台木の組合せ: 対照カラタチ台, ヒリュウ中間台30cm挿入カラタチ台の2組合せ。なお, カッコ内の3組合せは興津早生のみ追加 (ヒリュウ台, ヒリュウ中間台15cm挿入カラタチ台, ヒリュウ中間台45cm挿入カラタチ台)

